

令和 6 年度事業の実績報告

学園寄附行為第 61 条第 2 項に基づき令和 6 年度事業の実績について報告する。

(概要) (事務局)

当学園は、昭和 38 年 3 月に設立されたが、平成 31 年 4 月 1 日をもって、学園名を「矢谷学園」から「鳥取学園」に改め、鳥取県東部地域における私立学校の中心的存在として、一層の発展を目指すこととした。

近年、全国的に人口減少と少子高齢化が進んでいる。

さらに、令和 6 年度においては、円安の進行やロシアによるウクライナ侵攻等の影響もあり、前年度に引き続き光熱費が高騰し、学園経営を圧迫することとなった。

人口減少と少子高齢化の中で、今後とも、当学園にとって、園児や生徒の安定的確保や、経営改善方策の策定等、学園経営の一層の改善努力が求められている。

- (1) 高校においては、令和 6 年 8 月に熱中症対策として 3 つある体育館の空調設備を整備した。また、令和 7 年 3 月には城翔第四、五寮を新たに整備、部活動に励む寮生の生活環境の改善を図った。進学面においては、3 クラスの志学コースの生徒に着実に実力を身に付けさせてきたこと、鳥大進学コースの取り組みが功を奏したこと等により、国公立大学合格者延べ数は昨年度 39 名(国立 26 名)に対し今年度 46 名(国立 27 名)と 7 名増(国立 1 名増)、難関私大は延べ 19 名と 8 名増となった。生徒募集においては、昨年度に続き、部活動の勧誘における制限、また、県立高校の特色入試の影響を受けたものの、入学者 4 2 5 名と目標とする募集定員 4 0 0 名を達成することができ、全校生徒数は 1,168 名となった。なお、令和 9 年 4 月の開校を目指して中高一貫校の基本設計、実施設計を進めるなど諸準備を進めた。

- (2) 幼稚園では近年園児の減少傾向が続いており、赤字状態が続くなど危機的な状況である。このような中、令和 3 年度から第三幼稚園園舎の全面改築を行い、令和 5 年度に幼保連携型認定こども園として再スタートした。第一幼稚園については、令和 5 年度に実施設計を行い、令和 6 年度から改築工事に着手し、令和 8 年度に幼保連携型として開園を目指している。今後の鳥取市内全体の幼児減少などを見極めつつ、老朽化した園舎の環境改善・経営改善の方策確立など、将来を見据えて、鳥取幼稚園全体のあり方を抜本的に検討するこ

とが急務となっている。

- (3) 鳥取城北日本語学校では、令和2年度以降は新型コロナウイルスの感染拡大による入国制限等により、学生数が大幅に減少するなど大きな影響を受けた。令和元年度開校以降各年度とも定員100名を大幅に下回る状況が続いており厳しい赤字経営が続いている。令和6年度は5か国から52名の留学生を受入れた。令和7年度は5か国（ベトナム、モンゴル、ネパール、ミャンマー、バングラデシュ）から70名の留学生を受入れる。今後、留学生の確保とともに、鳥取市などの関係機関の協力を得ながら就職先の開拓に一層力を入れ、経営改善を図っていく必要がある。
- (4) 少子高齢化と経済環境の変化の中で、園児や生徒の安定的な確保に努め、さらに、人件費や経費削減に積極的に取り組み、持続可能な運営を目指し、人件費やコストの削減に積極的に取り組む必要がある。

以上のとおり、厳しい経営環境と不確実、不透明な諸情勢の中ではあるが、建学の精神に則り、積極的かつ個性的で魅力ある学園運営に努めた。

（学校法人鳥取学園寄附行為）

第61条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

（1）事業報告 （2）事業報告の附属明細書 （3）計算書類 （4）計算書類の附属明細書 （5）財産目録

2 理事長は、前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号及び第5号の書類の内容を定時評議員会に報告し、その意見を聴かなければならない。

1. 事業実績（学園全体）

（1）名 称 学校法人 鳥取学園

主たる事務所の住所 鳥取市西品治 848 番地

電話番号 (0857) 23- 0602

（2）法人成立 昭和 38 年 3 月 28 日

（3）目 的 教育基本法及び学校教育法に従い学校教育を行い豊かな人間性を涵養し、社会に貢献する有意な人材を育成する。就学前教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に従い、幼児期の教育・保育を行い、生涯にわたる人格形成の基礎を培う。

（4）設 置 校

区 分	開 校	知事認可日	備 考
鳥取城北高校	昭和 38 年 4 月	昭 38. 3. 12	—
認定こども園 鳥取第一幼稚園	昭和 30 年 6 月 平成 30 年 4 月	昭 30. 6. 7 平 30. 4. 1	平成 30 年度から幼稚園型 認定こども園に移行
認定こども園 鳥取第二幼稚園	昭和 41 年 4 月 平成 26 年 4 月	昭 41. 4. 6 平 26. 3. 31	平成 26 年度おひさま保育園設置 幼保連携型認定こども園に移行
認定こども園 鳥取第三幼稚園	昭和 43 年 4 月 平成 30 年 4 月	昭 43. 3. 13 平 30. 4. 1	平成 30 年度から幼稚園型認定こ ども園に移行、令和 5 年度から幼 保連携型認定こども園に移行
認定こども園 鳥取第四幼稚園	昭和 53 年 4 月 平成 24 年 4 月	昭 53. 2. 27 平 24. 3. 30	平成 24 年度はっぴい保育園設置 幼保連携型認定こども園に移行
認定こども園 鳥取第五幼稚園	昭和 55 年 4 月 平成 30 年 4 月	昭 55. 1. 12 平 30. 4. 1	平成 30 年度から幼稚園型 認定こども園に移行
鳥取城北日本語学校	平成 31 年 4 月	平 29. 11. 16	令和 2 年以降、毎年、広島出入国 在留管理局から適正校として選定

(5) 学生・生徒・園児数の状況 (各年度：5月1日現在) (単位：人)

学校名	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年 4 月 1 日
鳥取城北高等学校	1, 129	1, 151	1, 268	1, 239	1, 208	1, 168
認定こども園 鳥取第一幼稚園	169	157	136	132	103	82
認定こども園 鳥取第二幼稚園	275	274	265	263	249	242
認定こども園 鳥取第三幼稚園	88	94	96	118	120	115
認定こども園 鳥取第四幼稚園	295	273	262	237	229	212
認定こども園 鳥取第五幼稚園	81	68	57	49	59	44
認定こども園 計	908	866	816	799	757	695
鳥取城北日本語学 校	55	28	29	7	52	70
合 計	2, 092	2, 045	2, 113	2, 045	2, 017	1, 933

(6) 建学の精神

学校法人鳥取学園は、「社会をつくるのは人であり、人をつくるのは教育である。そして社会の発展の基礎は教育にある」との認識の上に立ち、教育を通して社会に貢献することを使命とする。

特に人間形成の基礎を育む幼稚園教育、人間性の一層の伸長と人格の陶冶を図る

高等学校教育を重視し、それぞれの教育目標を具現化するために鳥取幼稚園、鳥取城北高等学校を設置する。

また、地域社会の要請に応えるために鳥取城北日本語学校を設置する。

平成 31 年 4 月には、法人名称を矢谷学園から鳥取学園に変更し、法人の一層の発展を目指すこととした。

(7) 学校法人の沿革

昭 和

- 24 年 10 月 財団法人鳥取ドレスメーカー女学院設置
- 30 年 4 月 鳥取幼稚園開園
- 38 年 3 月 学校法人矢谷学園 設立認可
理事長 矢谷 允之
- 4 月 鳥取城北高等学校開校（普通科・商業科・家庭科）
- 41 年 4 月 鳥取第二幼稚園 設置認可
- 43 年 3 月 鳥取第三幼稚園 設置認可
- 4 月 鳥取城北高等学校 家庭科を廃止し商業科に商業家庭コースを設ける
- 51 年 4 月 鳥取城北高等学校 専攻科設置
- 53 年 2 月 鳥取第四幼稚園 設置認可
- 55 年 1 月 鳥取第五幼稚園 設置認可
- 63 年 11 月 鳥取情報処理専門学校 設置認可

平 成

- 2 年 3 月 財団法人鳥取ドレスメーカー女学院解散
- 16 年 3 月 鳥取城北高等学校 専攻科廃止
- 22 年 4 月 鳥取情報処理専門学校を専門学校鳥取情報経理学院に名称変更
- 24 年 3 月 はっぴい保育園 設置認可
- 25 年 4 月 理事長 山根 昌弘
- 26 年 3 月 専門学校鳥取情報経理学院 閉校
おひさま保育園 設置認可
- 29 年 11 月 鳥取城北日本語学校 設置認可
- 30 年 3 月 鳥取幼稚園の全園が認定こども園化
- 4 月 理事長 石浦 外喜義
- 31 年 4 月 法人名称を鳥取学園に変更
鳥取城北日本語学校 開校

令 和

- 3 年 3 月 鳥取城北高等学校新校舎完成記念式典開催
- 5 年 1 月 鳥取第三幼稚園園舎完成記念式典開催
- 5 年 6 月 鳥取城北高等学校総合グラウンド完成記念式典開催

(8) 役員等（令和 7 年 4 月 1 日現在）

- ① 理 事（寄附行為第 6 条第 1 項第 1 号 8 人以上 15 人以内）

	職 務	氏 名	就任年月日	勤 務	主な現(元)職
1	理事長	石浦 外喜義	(H24. 5. 30) R6. 4. 1	常勤	鳥取城北高校校長
2	常務理事	林 喜久治	(H26. 9. 25) R4. 4. 1	常勤	元鳥取大学理事・副学長
3	理 事	油野 利博	(H30. 7. 27) R3. 7. 30	非常勤	鳥取城北日本語学校校長 鳥取大学名誉教授
4	理 事	西村 岩雄	(H30. 4. 1) R6. 4. 1	常勤	事務局長
5	理 事	西本 誠	(R2. 5. 28) R5. 5. 28	常勤	鳥取城北高校教頭
6	理 事	田村 雅子	(H30. 5. 31) R6. 5. 31	常勤	認定こども園鳥取第一幼稚園長
7	理 事	青木 真奈美	(R2. 4. 1) R5. 4. 1	常勤	認定こども園鳥取第四幼稚園長
8	理 事	金井 哲治	(H26. 7. 12) R4. 4. 1	非常勤	元スギホールディングス(株)常勤監査役
9	理 事	小林 敬典	R6. 4. 1	非常勤	元鳥取県代表 監査委員

注) 就任年月日の () 内は、当初の理事就任年月日

② 監 事 (寄附行為第 6 条第 1 項第 2 号 2 人)

	職 務	氏 名	就任年月日	勤 務	主な現(元)職
1	監 事	花房 幸範	(H26. 9. 30) R4. 4. 1	非常勤	アカウンティングワークス(株) 代表取締役 (公認会計士)
2	監 事	池上 勝治	(H26. 12. 22) R4. 4. 1	非常勤	元智頭急行 (株) 代表取締役社長

注) 就任年月日の () 内は、当初の監事就任年月日

③ 役員待遇者

	職 務	氏 名	就任年月日	勤 務	主な現(元)職
1	スーパーバイザー	淀川 忠明	R6. 2. 26	非常勤	(公財)日本相撲連盟加盟団体 九州相撲連盟理事長 福岡県相撲連盟理事長
2	スーパーバイザー	角 久仁夫	R6. 4. 23	非常勤	明治大学端艇部前監督 鳥取県ボート協会 特別アド バイザーコーチ
3	スーパーバイザー	坂本 敬史	R6. 12. 11	非常勤	フットリಂಗル代表 株式会社 W.M 顧問 (サッカー日本代 表主将・遠藤航個人マネジメン ト会社)
3	アンバサダー	宮城野 翔	(H27. 2. 20) R6. 2. 20	非常勤	第 93 代横綱

注) 就任年月日の () は当初の就任年月日

④ 理事会の開催状況

開催日	主な議題等
-----	-------

1	6. 4. 25	認定こども園鳥取幼稚園運営規程(園則)の一部改正、理事会が選任する評議員の選任及び理事会が推薦する評議員の推薦、令和 5 年度事業実績報告
2	6. 5. 28	R5 年度決算及び事業実績並びに監事監査報告、令和 6 年度 5 月補正予算、学園評議員(3 号:学識経験者)の選任
3	6. 6. 21	理事会の推薦する評議員(高校職員)、スクールバスの購入(更新)、鳥取城北高等学校書道部顧問の表彰について
4	6. 7. 26	R5 年度決算監事監査意見への対応方針、中高一貫校進捗状況経営分析主要指標
5	6. 8. 5 (臨時)	鳥取学園経理規則の一部改正(案) 理事長専決処分の報告(令和 6 年度 8 月補正予算)
6	6. 9. 6	顧問弁護士の選任 書道部及びダンス部、ボート部の表彰
7	6. 9. 25	理事長専決処分の報告(令和 6 年度 8 月補正予算)(学園経理規則の一部改正を含む)、令和 6 年度 9 月補正予算(案) 学園評議員(職員)の選任、令和 6 年度 9 月補正予算(案)
8	6. 10. 25	男女相撲部の表彰、中高一貫校の検討状況、日本語学校懸案事項
9	6. 11. 25	令和 7 年度当初予算編成の基本方針(案)、私立学校法の改正に伴う学園寄附行為の変更(案)
10	6. 12. 11	令和 6 年度 12 月補正予算(案)、私立学校法の改正に伴う寄附行為の一部変更
11	6. 12. 23 (臨時)	中高一貫校の検討状況、令和 7 年度当初予算主要事業(案)(高校分)、推薦・専願 I 受験申込状況
12	7. 1. 22	令 7. 4. 1 付学園教職員の給与改定、バスケットボール部の理事長表彰、令和 7 年度当初予算要求主要事業、4/1 基幹人事(案)
13	7. 2. 13	令 7. 4. 1 付基幹人事((幼稚園関係))、令和 7 年度当初予算要求主要事業(高校追加分)、令和 7 年度所属別運営方針(案)(日本語学校のみ)
14	7. 3. 17	令和 6 年度 3 月補正予算主要事業(案)、令和 7 年度当初予算主要事業(案)、基幹人事、鳥取幼稚園運営規程(園則)の一部改正

⑤ 評議員(寄附行為第 19 条第 2 項 令和 7 年 4 月 1 日現在)

		氏 名	就任年月日	主な現職
1 号(職員)	1	西村 岩雄	R4. 4. 1	鳥取城北高校副校長

理事会推薦 (評議員会選任)	2	荒木 健司	R4. 5. 28	鳥取城北高校事務長
	3	西本 誠	R5. 5. 28	鳥取城北高校教頭
	4	安藤 章夫	R4. 4. 1	鳥取城北高校主幹教諭
	5	霜村 しおり	R6. 9. 25	教頭
	6	田村 雅子	R6. 5. 31	認定こども園第一幼稚園 園長
	7	花岡 佑子	R5. 5. 28	認定こども園第三幼稚園 教務主任
	8	川上 ゆかり	R4. 5. 28	認定こども園第四幼稚園 副園長
	9	福田 秀一郎	R4. 5. 28	鳥取城北日本語学校教諭
	10	山根 亮文	R4. 4. 1	鳥取城北高校教諭
2 号 (卒業生) (理事会選任)	11	谷口 洋一	R4. 4. 1	株式会社谷口工務店代表取締役
	12	佐々木 重行	R4. 4. 1	
	13	砂田 典男	R4. 4. 1	鳥取市議会副議長
3 号 (学識経験者) (理事会選任)	14	岡田 信俊	R6. 6. 29	有限会社オカダ人形 代表取締役社長、鳥取市議会議員
	15	田村 穰	R5. 12. 14	公財)海外子女教育振興財団
	16	近藤 剛	R4. 8. 1	鳥取短期大学教授
	17	平井 明博	R5. 5. 26	鳥取城北高校 P T A 会長
	18	尾坂 亮	R5. 5. 26	認定こども園 第一幼稚園 PTA 会長
	19	磯江 紹元	R4. 5. 28	認定こども園 第二幼稚園 PTA 会長
	20	河西 祐介	R6. 5. 28	認定こども園 第三幼稚園 PTA 会長
	21	岸本 佳代子	R4. 5. 28	認定こども園 第四幼稚園 PTA 会長
	22	宮谷 健人	R5. 5. 26	認定こども園 第五幼稚園 PTA 会長
	23	石橋 潤	R6. 4. 1	株式会社山陰合同銀行

⑥ 評議員会の開催状況

	開催日	主な議題等
1	6. 5. 28	令和 5 年度決算及び事業実績並びに監事監査報告 令和 6 年度 5 月補正予算 学園評議員(1 号:職員)の選任
2	6. 9. 25	理事長専決処分の報告(令和 6 年度 8 月補正予算 令和 6 年度 9 月補正予算 学園評議員(職員)の選任
3	6. 12. 11	令和 6 年度 12 月補正予算、私立学校法の改正に伴う寄附行為の一部変更
4	7. 3. 17	令和 6 年度 3 月補正予算主要事業、令和 7 年度当初予算主要事業

(9) 学園全体の取り組み

① 学園名の変更

当学園の前身である財団法人鳥取ドレスメーカー女学院が、昭和 24 年 10 月

に設立されてから、70 周年の節目を迎える平成 31 年 4 月 1 日をもって、学園名称を「鳥取学園」と改め、今後鳥取県東部地区における私立学校の中心的存在として、一層の発展と飛躍を目指すこととした。

② 組織改正

ア 令和 2 年 12 月に、高校校舎改築事業完成を踏まえて、事務局と高校事務室を統合し、名称を「事務局」とするとともに、幼稚園係を設置した。

イ 令和 5 年 4 月 1 日、事務局に秘書・調整担当を設置した。

ウ 令和 6 年 3 月 1 日、事務局に危機管理担当を設置した。

エ 令和 6 年 4 月 1 日、事務局に中高一貫校準備室及び室長を設置した。

③ 鳥取学園 心の健康づくり計画

厚生労働省「労働者の心の健康の保持増進のための指針」に従って、学園の心の健康づくり活動の具体的方法を定め、教職員の心の健康づくりと活気ある職場づくりに取り組む。(令和 2 年 1 月 1 日施行)

- ・学園全教職員対象「パワハラ研修会（メンタルヘルス研修会同時開催）」
(令和 5 年 3 月 8 日)

④ 情報公開

- ・広報委員会（平成 30.10 月設置）の開催
- ・学園通信 MIRAI や鳥取学園パンフレットの発行
- ・幼稚園 HP のリニューアル

⑤ あいサポート企業（団体）の認定

全ての人々が住みやすい社会の実現を目指す「あいサポート運動」に賛同し、県からあいサポート企業（団体）の認定を受けた。(平成 30 年 10 月 26 日)

⑥ 次世代育成支援対策推進法および女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画

次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画

第 1 期 平成 23.4.1～平成 28.3.31

第 2 期 平成 28.5.1～令和 3.3.31

第 3 期 令和 3.5.1～令和 8.4.30

女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画

第 1 期 平成 30.2.1～令和 3.3.31

第 2 期 令和 3.5.1～令和 8.4.30

鳥取労働局の指導により、両計画を一体的に策定して 1 つの計画とした。

計画期間 令和 3 年 5 月 1 日～令和 8 年 4 月 30 日

計画内容

目標 1 法制度の周知による意識啓発を推進する。

目標 2 管理職に占める女性教職員と男性教職員の割合を均衡させ、維持する。

目標 3 有給休暇取得率を向上させ、維持する。

⑦ 鳥取県男女共同参画推進企業認定に基づく取組

(初回認定 平成 23 年 3 月 1 日、更新 平成 26 年 2 月 28 日、

更新 平成 29 年 3 月 29 日、更新 令和 2 年 3 月 23 日、

更新 令和4年2月28日)

- ・母性健康管理のための休暇等に関する規程 平成26年10月1日施行
- ・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画が、「女性活躍推進企業データベース」に登録された。(令和2年8月25日)

【自主宣言】

- ①学園の教職員が仕事と家庭の両立をしながら働き続けられるような職場環境の充実を図り、女性の働きやすい職場を目指します。
- ②家庭と仕事の両立をしながら働き続けられるようサポートします。
教職員の積極的な研修の参加などキャリアアップを支援し、女性の働き続けられるような環境の整備。
- ③女性の就業継続のため、育児・介護休業に関する規程等の周知を改めて行う。

【行動計画】

女性の管理的地位に占める女性の割合について現状維持を目指す
希望する自主研修等の費用の補助等の実施
育児・介護休業に関する規程等の周知を行い、取得を促進する。

2. 事業実績（施設別）

(1)鳥取城北高等学校

昭和38年4月の開校から61年経過。質実剛毅の校訓を基底に知・徳・体の調和と統一のとれた教育活動をめざし、生徒・保護者・教職員がともに幸せになれる教育および、ホスピタリティを重視した活動を展開した。

令和6年度においては、激動する国際、国内情勢の影響を少なからず受けながらも、安定した教育活動を行うことができた。そのような中、部活動においては多くの競技が中国大会や全国大会に出場した。特に書道部は、「第17回書道パフォーマンス甲子園」において、2年連続2回目の優勝を果たし、文部科学大臣賞に輝いた。

さらにまた、男女バスケットボール部においては、昨年度に続き中国高校新人大会でアベック優勝を果たし、さらに、男女ともに出場したウィンターカップでは男子が準優勝を遂げるなど大いに活躍した。

生徒募集においては、昨年度に続き、部活動の勧誘における制限、また、県立高校の特色入試の影響を受けるものの、目標とする募集定員400名に達することができた。進学においては、過去最高となる鳥取大学17名の合格者を輩出するなど、鳥大コースをはじめとする進学に向けての取り組みが成果をあげた一年であった。

主な項目	概 要				
学級編成	定員 (人)	生徒数 令和 6. 4. 1		(参考 令和 7. 4. 1)	
	普 通	34CL 1, 206 人		(34CL 1, 168 人)	
教職員数 令和 6. 4. 1 (令和 7. 4. 1)	区 分	教員	職員	計	合計
	常 勤	91 (91)	16 (18)	107(109)	130 人 (139 人)
	非常勤	11 (11)	12 (19)	23(30)	
学力向上の	【全体】 初期指導オリエンテーション、栄光塾・研志塾（無料の校内塾）、 GW サポート、総合型選抜・学校推薦型選抜・一般選抜個別指導				

取り組み	小論文模試 【研志コース】 放課後プラスアルファ（基礎学力定着、英検取得への取り組み） 進路実現 DAY、鳥取大学ツアー 【志学コース】 クリアテスト、放課後共通テスト演習、ファイナルチェックテスト、栄光塾合宿、志学受験生合宿、鳥取大学進学合宿、鳥取大学ツアー 【スポーツ科学コース】 英検学習、到達度確認テスト（基礎学力定着への取り組み）
------	--

保育体験活動	・鳥取幼稚園児とのふれあい学習 経費 5,773 円 ・神戸親和大学 授業体験 経費 15,741 円 ・青少年赤十字出前講座（日本赤十字社） 経費 無し
教育相談事業	・スクールカウンセラー派遣委託（一般社団法人 P s y c h o r o ） 経費 859,375 円（県補助 3/4 最大 600,000 円）
寮の設置運営	・城翔第一寮（H27.3 設置） ・城翔第二寮（R2.5.1 設置） ・城翔第三寮（R6.4.1 設置） ・城翔第四寮（R7.4.1 設置） ・城翔第五寮（R7.4.1 設置） ・寮生 270 名 内、男：197 名、女：73 名（令和 7.4.1）
学 校 給 食	・167,535 食（R5 年 183,038 食） 朝…56,216 食、 昼…52,667 食、 夜…58,652 食 ・一般生徒及び教職員を対象とした昼食提供販売 ・ランチルームにホーム絆を設け、牛丼、カレー、ラーメン、うどん、そば等の販売を NPO 法人フェリースに委託

広 報 活 動	・各中学校での高校説明会（6月～9月） 各中学校の卒業生を動画で登場させる取り組み ・オープンスクール（7月23日～25日） ・体験入部（8月中旬） ・パンフレット作製（7月～10月） ・入試説明会（10月26日） ・JOHOKU Tour2024 開催（10月19日） ・進学相談会（11月～12月：全5回） ・栄光塾中学生講座（11月30日、12月1日） ・Facebook による情報配信 ・ケーブルテレビ「部活動ガンバ！」等番組出演 ・鳥スポニュースでの部活動紹介（7月、12月、3月） ・県政記者クラブへの積極的な情報提供 ・ホームページにオリジナルパノラマを導入（3月）
---------	---

就職内定率	元年度 100%	2年度 100%	3年度 100%	4年度 100%	5年度 100%	6年度 100%
進 学 率	元年度 82.9%	2年度 79.8%	3年度 81.3%	4年度 82.7%	4年度 85.7%	6年度 87.5%
進 学 状 況	【大学入試合格状況】 ○国公立大学46名(前年度29名) 鳥取大学17名 広島大学1名 岡山大学2名 島根大学2名、 愛媛大学1名、徳島大学1名、奈良教育大学1名、奈良女子大学1名 神戸市外語大学1名、公立鳥取環境大学7名、京都府立大学1名 他 ○難関私立大学19名(前年度11名) 同志社大学4名、立命館大学5名、関西大学5名、関西学院大学1名、 明治大学1名、中央大学1名、立教大学2名					

学校 評価 (学校運営 の改善)	重点 目標	「教育理念の確実な取り組み」			
	各 項 目 評 価	学力強化	進学指導	就職指導	人権教育
		B（B）	B（B）	B（A）	A（A）
		生徒指導	生徒会	ICT 推進	授業向上
		A（A）	B（B）	B（B）	B（B）
		目標達成度合により A>B>C>D で評価（ ）は令和 5 年度評価			

校舎改築等整備にかかる 長期借入金の 状況	校舎改築等整備事業 長期借入金返済状況			
	1) 借入状況			
	項目	借入日	借入金 (千円)	期間
	校舎改築	R 2.4.30 R 3.4.30	3,050,000	35 年
	城翔	H 27.2.27	330,000	30 年
	第一,二寮	R 2.4.30		
	第三寮	R 6.2.29	108,000	20 年
	野球場	H27.11.11	156,000	25 年
	旧志学校舎 一部解体	R 4.7.29	37,700	10 年
	卓球場	R 5.4.21	33,000	10 年
	三代寺 グラウンド	R 5.7.31	285,600	25 年
	アリーナ (高温対策)	R6.10.31	30,000	15 年
	計		4,030,000	
	2) 令和6年度返済			
	返済額 171,181,267 円			
	県補助金 22,347,265 円			
	自己資金 148,834,002 円			
	3) 令和6年度末残高			
	3,461,918,700 円			

アリーナ高温対策 事業	整備場所	城北アリーナ、サブアリーナ、城翔アリーナ
	整備内容	1 遮熱工事 遮熱シート施工 2 設備・備品 エアコン設置
	工事施工者	福岡県北九州市若松区南二島 2 丁目 16-17 株式会社 ケーメック 代表取締役 広松英和
	契約工期	令和 6 年 8 月 7 日～令和 6 年 9 月 30 日
	全体事業費	30, 000 千円

城翔第四・五寮 の整備	整備場所	鳥取市寺町 20-17 城翔第四寮（元山陰合同銀行社宅） 鳥取市寺町 20-18 城翔第五寮（元山陰合同銀行独身寮）
	物件概要	四寮）土地 1646.79 m ² 、建物 1,044.63 m ² （3 階） 五寮）土地 827.04 m ² 、建物 695.81 m ² （3 階）
	改修内容	1 修繕工事 ハウスクリーニング、トイレ改修、受水槽取替等 2 設備・備品 家電購入、二段ベッド設置等
	工事施工者	八頭郡八頭町宮谷 200 番地 2 こおげ建設株式会社 代表取締役 山根敏樹
	契約工期	令和 7 年 2 月 6 日～令和 7 年 3 月 25 日
	全体事業費	127,147 千円

部 活 動	運動部	○相撲部（男子） ・ 令 6 年度全国選抜高等学校相撲選手権大会 団体 優勝 個人 無差別級 準優勝 ・ 第108回 高等学校相撲金沢大会 団体 優勝 個人 優勝 ・ 令和6年度全国高等学校総合体育大会相撲競技大会 団体 準優勝 個人 軽量級 優勝 ・ 第73回全国高校相撲十和田大会 個人 優勝 ・ 2024世界ジュニア相撲選手権大会 団体 優勝 個人 中量級 優勝 ・ 令和6年度国民スポーツ大会 少年相撲競技 団体 優勝 ○相撲部（女子） ・ 第 1 2 回国際女子相撲選抜堺大会（令 6. 4. 7） 一般 団体 準優勝 一般 個人 軽量級 準優勝 軽重量級 準優勝 ・ 第 3 回全日本相撲個人体重別選手権大会（令 6. 5. 12） ジュニア 個人 軽量級 準優勝 ・ 第10回全国女子相撲ひめじ大会（令 6. 6. 16） 中学高校 個人 軽量級 優勝 ・ 第15回 全日本女子相撲岐阜大会（令 6. 7. 14） 一般 団体 準優勝

		一般 個人 6 5 kg級 準優勝 一般 個人 8 0 kg級 優勝 準優勝
		・第1回全国高等学校女子相撲選手権大会(令 6. 8. 10) 団体 準優勝 個人 軽量級 準優勝 個人 中量級 優勝 準優勝 個人 重量級 優勝
		・2024世界ジュニア相撲選手権大会(令 6. 9. 7) ジュニア 団体 優勝 ジュニア 個人 無差別級 優勝
		・第29回全日本女子相撲選手権大会(令 6. 10. 13) 一般 団体 準優勝 一般 個人 5 5 kg級 優勝 7 3 kg級 優勝 8 0 kg級 優勝
		○野球部 ・第142回春季中国地区高等学校野球大会出場(令 6 年 4 月) ・第106回全国高等学校野球選手権大会出場(令 6 年 8 月)
部		○男女陸上競技部 ・第77回中国高等学校陸上競技対校選手権大会 男子走高跳 優勝 ・第33回中国高等学校新人陸上競技対抗選手権大会 男子走高跳 優勝
活	運動部	○女子駅伝部 ・第36回全国高等学校駅伝競走大会 出場
動		○スキー部 ・第66回中国高等学校スキー選手権大会 男子大回転第1位 女子大回転第2位 ・第74回全国高等学校スキー大会 出場 ・第32回中国高等学校新人スキー大会 男子大回転 第2位 女子大回転 優勝 女子回転 優勝
		○ソフトボール部 ・第73回中国高等学校女子ソフトボール大会 優勝 ・令和6年度全国高等学校総合体育大会 ソフトボール競技 出場 ・第43回全国高等学校選抜女子ソフトボール大会 出場
		○女子サッカー部 ・第33回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 出場

部 活 動	運動部	○剣道部 ・令和6年度全国高等学校総合体育大会 剣道競技の部 男子個人 出場 ○男子バスケットボール部 ・softbank ウインターカップ2024 令和6年度第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会 準優勝 ・令和6年度中国高等学校新人バスケットボール大会 優勝 ○女子バスケットボール部 ・第68回中国高等学校バスケットボール選手権大会 優勝 ・U18日清食品中国ブロックリーグ2024 優勝 ・令和6年度中国高等学校バスケットボール新人大会 優勝 ・softbank ウィンターカップ2024 令和6年度第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会 出場 ○テニス部 ・第47回 全国選抜高校テニス選手権大会 個人戦出場 ・令和6年度鳥取県高等学校テニス新人戦個人の部 優勝 ・令和6年度国民スポーツ大会鳥取県予選 テニス少年の部 男子シングルス 優勝 ・令和6年度鳥取県高等学校総合体育大会テニス競技の部 男子シングルス 優勝 ・令和6年度鳥取県高等学校テニス選手権 男子シングルス 優勝 ○ボクシング部 ・令和6年度第78回中国高等学校ボクシング選手権大会 ライトウェルター級 第1位 ・令和6年度第78回全国高等学校総合体育大会ボクシング競技の部 ライトウェルター級 出場 ・令和6年度第4回全国マสบクシング選手権大会 アンダー16 準優勝 ○空手道部 ・第38回中国高等学校空手道選抜大会 女子個人組手 -59kg 級 第2位 男子個人組手 -76kg 級 第1位 女子団体組手 3人制 優勝 男子団体組手 3人制 優勝 ○ボート部 ・第68回中国高等学校ローイング選手権大会 M1× 第1位 M2× 第1位 ・第78回国民スポーツ大会「SAGA2024」
--	-----	--

部 活 動	運動部	M1× 第1位 ・第36回全国高等学校選抜ボート大会中国地区予選会 M1× 第1位 M2× 第2位
		○クライミング部 ・令和6年度国民体育大会 少年男子リード6位 ・第14回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会 団体第4位 ・にしけいカップ九州スポーツクライミングコンペティション 2024 第1位 ・IFSC アジアユース選手権（インド） 第2位 ・スピードユース選手権 第3位
		○ダンス部 ・全国高等学校ダンスドリル選手権大会 Small 男女混成部門 第1位 ・第15回全国高等学校ダンスドリル冬季大会 HIPHOP 男女混成 small 部門 出場
	文化部	書道部 ・第17回書道パフォーマンス甲子園（全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会） 優勝・文部科学大臣賞（2年連続優勝） ・第18回全国高校生大作書道展 大作準大賞（全国第3位） ・第33回国際高校生選抜書展 団体：中国地区準優勝 個人：秀作賞1名 入選12名 ○新聞部 ・第28回全国高校新聞年間紙面審査賞 優良賞（13位相当） （優良賞の受賞は4年連続 8度目）

(2) 認定こども園鳥取幼稚園

私学の幼児教育 69 年の伝統を基に、人格の基礎を形成する重要な時期であり、感動する心、豊かな感性をもち、自立心を育て思いやりの心を育む教育活動を展開し、負託に応える園づくりに努めた。

また、平成 30 年度には、全園が認定こども園に移行したことにより、各園が一層連携を深めて園児確保に努めているところであるが、少子化等の影響もあり、園児数の減少傾向が続いている。

また、第一幼稚園は、令和 6 年度・7 年度の 2 年間をかけて、園舎全面改築事業の着工を予定しており、令和 8 年度に幼保連携型への移行を目指す。

主な項目	概 要				
学級編成		園児数 6. 5. 1		(参考 令和 7. 4. 1)	
	認定こども園 鳥取第一幼稚園	定員 150	5CL 103 人	定員 125	4CL 82 人
	認定こども園 鳥取第二幼稚園	270	12CL 249 人	260	13CL 242 人
	認定こども園 鳥取第三幼稚園	125	6CL 120 人	125	6CL 115 人
	認定こども園 鳥取第四幼稚園	250	11CL 229 人	230	10CL 212 人
	認定こども園 鳥取第五幼稚園	65	4CL 56 人	55	4CL 44 人
	合 計	850	41CL 757 人	795	37CL 695 人
教職員数 6. 4. 1 (令和 7. 4. 1)	区 分	教 員	職 員	計	合 計
	常 勤	84 (83)	13 (11)	97 (94)	169 (167)
	非常勤	55 (57)	17 (16)	72 (73)	
園児募集	地域密着生活情報誌「つばさ」年 2 回掲載(6 月号 5/27 発行・10 月号 9/24 発行)996 千円 経費 996 千円				
教育・保育	・幼稚園：平日 午前 10 時～午後 2 時(水曜日 午前 10 時～午後 1 時) ・認定こども園:平日 午前 7 時 30 分～午後 7 時 ・土曜日 午前 7 時 30 分～午後 6 時 ・預かり保育利用:延 1,322 人				
各種教室	・音楽教室(ピアノ、リトミック 担当:園音楽教員) 延 3,408 人 ・体育教室(ボール、器具遊び、プール) 延 123 回 ・英語教室(歌、ゲーム等による興味つけ) 延 148 レッスン ・サッカー教室(ボール遊び、ミニゲーム等) 延 45 回実施				
施設整備	・第一幼稚園 園舎改築実施設計業務委託(委託業者:(有)望月建築設計事務所) 期間:5. 4/4-12/28 委託料 10,824 千円 園舎改築地質調査業務委託(委託業者:(有)望月建築設計事務所) 期間:5. 6/12-7/31 委託料 2,310 千円 ・第一幼稚園 防犯カメラシステム一式(施工業者:(株)セコム) 工期 5. 10/3 工事費 418 千円 ・第一幼稚園 園舎改築大規模修繕事業(第一期工事) 工期 6. 6/20-7. 2/28 工事費 212,190 千円 ・第二幼稚園 幼)調理室 IH ユニット 1 台取替一式 工期 6. 12/9 工事費 308 千円 ・第四幼稚園 乳)給湯室 IH コンロ取替工事一式 工期 6. 9/9 工事費 825 千円 ・第四幼稚園 乳)調理室洗浄機設置一式 工期 6. 9/9 工事費 2,475 千円 ・第五幼稚園 園児用プール設置一式 工期 6. 6/17 工事費 1,513 千円				

	【緊急環境整備補助事業：756 千円】 ・第五幼稚園 GO!5 ルーム)エアコン取替工事一式 工期：6.7/31 工事費 594 千円
地 域・ 園行事等	・一園 日進小地区幼保小連絡協議会・交流会、日進地区公民館祭作品出展、永楽温泉町七夕かざり参加 ・二園 醇風小・城北小交流会、醇風地区幼保連絡協議会・交流会 地区夜桜道路ぼんぼり展示参加、醇風地区公民館祭作品出展 ・三園 中ノ郷中校区幼保小中連絡協議会、浜坂地区保幼小交流会 らっきょう堀り体験、浜坂地区公民館祭作品出展 ・四園 美保南小地区幼保小連絡協議会・交流会、美保南地区子育てサークル参加 美保南地区公民館祭作品出展、ガイナレ・サッカー協会との交流 ・五園 末恒地区幼保小連絡協議会・交流会、末恒地区公民館祭作品出展 末恒地区の方との交流会
	・幼稚園を活用した子育て支援 計 43 回（親子体育教室一・二・四園で実施）
	・各園再資源化の取り組み（継続）
給 食	・幼児：鳥取幼稚園給食センター委託 152,621 食 ・乳児：(株) レパスト 委託 51,693 食
学校評価	○各園の総合評価 ☆教育目標 第一幼稚園 ○A (A) ☆豊かな心を持ち生き生きと遊ぶ子ども 第二幼稚園 ○A (A) ☆生きる力があふれる子ども 第三幼稚園 ○A (A) ☆豊かな感性をもち主体的に活動する子ども 第四幼稚園 ○A (A) ☆ゆたかで やさしく たくましいこども 第五幼稚園 ○A (A) ☆明るく たくましく 心豊かな子ども <A 十分達成 B 達成 C 取り組みが十分でない D 不十分> () は令和 6 年度評価

(3) 鳥取城北日本語学校

- ・平成 31 年 4 月 1 日鳥取城北日本語学校を開校。第 1 期生として、ベトナムから 17 名の留学生を受け入れた。(令和 2 年 3 月 13 日 卒業式)
- ・令和 2 年度留学生(第 2 期生)として、ベトナムから 55 名の留学生を受け入れた。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、国の水際対策により、留学生の入国が大幅に遅れたため、卒業時期を 3 か月延長した。(令和 2 年 11 月 26 日 入学式、令和 3 年 6 月 26 日 卒業式)
- ・令和 3 年度留学生(第 3 期生)として、ベトナムから新規留学生 26 名、再入学生 1 名(2 期生)の計 27 名を受け入れた。令和 3 年度も新型コロナウイルス感染症拡大による国の水際対策により、全ての国からの新規入国が認められない状況が長期間続いた。このため、新規留学生 26 名については、年度当初からオンライン授業に取り組んだ。入国時期

- ・令和2年11月13日 広島出入国在留管理局から「適正校」として選定する旨の通知。以降、毎年度、適正校として選定されている。
- ・令和4年度留学生（第4期生）は、28名を受け入れ、モンゴルから初めて受入れた。
- ・令和5年3月7日 留学生が、在留資格「特定技能」を取得して就職した後も、受入企業をサポートできるように、広島出入国在留管理局へ「特定技能登録支援機関」の登録申請を行った。（令和5年5月12日 許可）
- ・令和5年度留学生（第5期生）は、7名が入学した。マレーシアから初めて受入れた。（令和5年4月14日 入学式、令和6年3月13日 卒業式）
- ・令和6年度は新型コロナウイルスの影響も緩和されたことから、第6期生として52名が入学した。（令和6年4月12日 入学式、令和7年3月7日 卒業式）

課程	コース名	修業年限	収容定員	クラス数
日本語学科	一般コース	1 年	1 0 0 名	5 クラス
教職員数	区 分	教 員	職 員	合 計
令和 6. 4. 1 (令和 7. 4. 1)	常 勤	6 (6)	2 (1)	8 (7)

学 校 評 価	教 育 目 標	日本での生活を通じて、母国の誇りを持って日本の社会で就業及び生活できる人材の育成を目指す。				
	各 項 目 評 価	教育理念	学校運営	教育活動	学修成果	学生支援
		3 (3)	3 (3)	3 (3)	4 (4)	3 (3)
		教育環境	学生募集	財 務	法令順守	社会貢献
		3 (3)	3 (3)	3 (3)	4 (4)	2 (2)
		<4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切> ()は令和5年度評価				

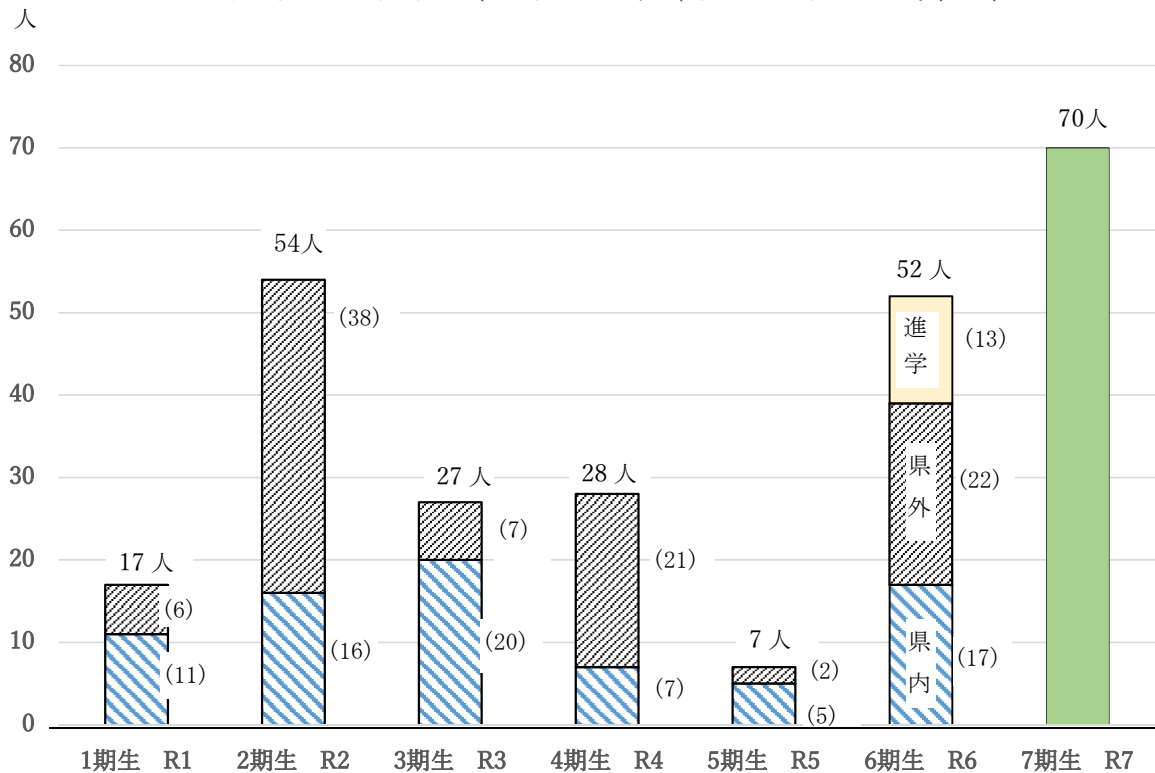
留学生の受入状況（期別）

令和7年4月1日現在

	区 分	企業数	学生数	男	女
1 期 生 (R元)	県内企業	8 社	11 人	5 人	6 人
	県外企業	5 社	6 人	3 人	3 人
	計	13 社	17 人	8 人	9 人
2 期 生 (R2)	県内企業	13 社	16 人	11 人	5 人
	県外企業	21 社	38 人	29 人	9 人
	計	34 社	54 人	40 人	14 人
3 期 生 (R3)	県内企業	10 社	20 人	12 人	8 人
	県外企業	4 社	7 人	5 人	2 人
	計	14 社	27 人	17 人	10 人
4 期 生 (R4)	県内企業	5 社	7 人	4 人	3 人
	県外企業	8 社	21 人	13 人	8 人
	計	13 社	28 人	17 人	11 人
5 期 生 (R5)	県内企業	1 社	5 人	1 人	4 人
	県外企業	2 社	2 人	2 人	0 人
	計	3 社	7 人	3 人	4 人
6 期 生 (R6)	県内企業	7 社	17 人	4 人	13 人
	県外企業	9 社	22 人	9 人	13 人
	進 学		13 人	5 人	8 人
	計	16 社	52 人	18 人	34 人
合 計	県内企業	36 社	75 人	36 人	39 人
	県外企業	43 社	96 人	61 人	35 人
	進 学		13 人	5 人	8 人
	計	79 社	184 人	102 人	82 人
7 期生(R7)			70 人	45 人	25 人

*合計（企業数）は、各期の延数ではなく、実数である。

留学生の推移（進学、就職(県内・県外企業)別）



留学生の受入状況（期別）

令和6年4月1日現在

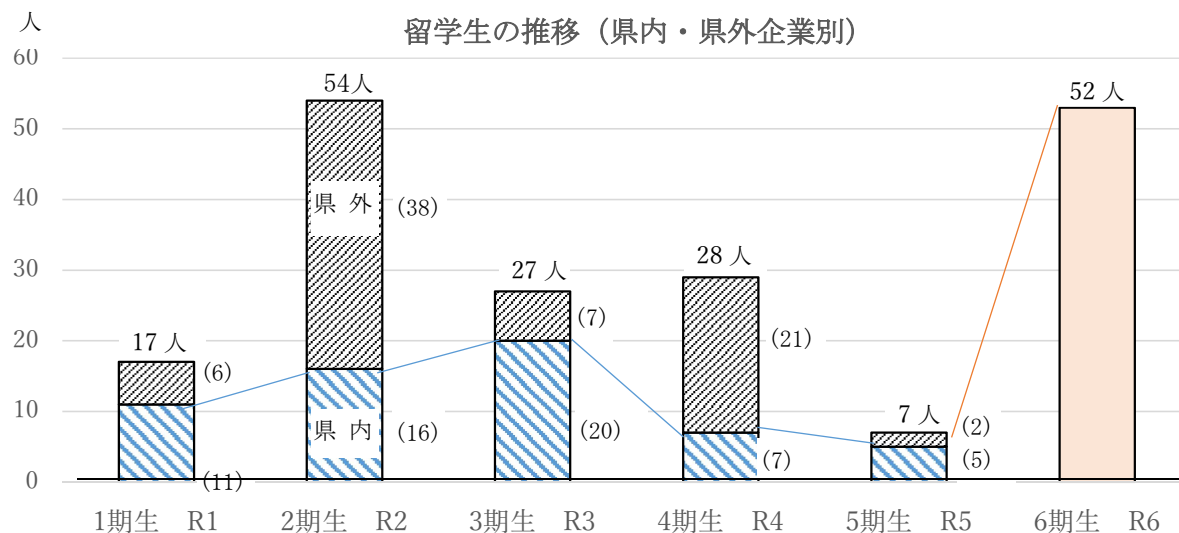
	区 分	企業数	学生数	男	女
1期生 (R元)	県内企業	8社	11人	5人	6人
	県外企業	5社	6人	3人	3人
	計	13社	17人	8人	9人
2期生 (R2)	県内企業	13社	16人	11人	5人
	県外企業	21社	38人	29人	9人
	計	34社	54人	40人	14人
3期生 (R3)	県内企業	10社	20人	12人	8人
	県外企業	4社	7人	5人	2人
	計	14社	27人	17人	10人
4期生 (R4)	県内企業	5社	7人	4人	3人
	県外企業	8社	21人	13人	8人
	計	13社	28人	17人	11人
5期 (R5)	県内企業	1社	5人	1人	4人
	県外企業	2社	2人	2人	0人

(R5)

生	計	3 社	7 人	3 人	4 人
合 計	県内企業	30 社	58 人	32 人	26 人
	県外企業	34 社	74 人	52 人	22 人
	計	64 社	133 人	85 人	48 人

6 期生		52 人	18 人	34 人
------	--	------	------	------

*合計（企業数、学生数）は、各期の延数ではなく、実数である。



（４）事 務 局

法人業務を総括し、理事会・評議員会の開催事務や県の検査等に対応した。

（高校事務室との統合について）

職員数	区 分	職 員	合 計
令和 6. 4. 1 (令和 7. 4. 1)	常 勤	11 (10)	11 (10)
	非常勤	0 (0)	

主な項目	概 要
公認会計士 委嘱	池 原 浩 一（会計監査） 契 約（年度毎） 平成 30 年 6 月 1 日 経費 1,540 千円
法律顧問契約	弁護士 駒 井 重 忠 契 約 平成 25 年 9 月 26 日 経費 660 千円 令和 6 年 9 月 30 日 顧問契約満了 弁護士 菅 野 澄 人 契 約 令和 6 年 10 月 1 日より 1 年間 経費 顧問料 年間顧問料 固定料金なし 1 時間 27,500 円

社会保険労務士 顧問契約	特定社会保険労務士 山 下 靖 夫 契 約 平成 28 年 9 月 30 日（期間継続） 経費 264 千円
規則制定・改正 状況	・認定こども園鳥取幼稚園運営規則(園則)の一部改正(R6.4.1 付) ・教職員の服務に関する規則の一部改正(R6.6.6 付) ・鳥取学園.経理規則の一部改正(R6.8.5 付) ・学校法人鳥取学園寄附行為の一部改正(R7.4.1)
監査受検状況	・令和 5 年度 私立学校教育振興補助金等に係る実地調査 鳥取城北高等学校 令和 6 年 4 月 22 日 ・令和 5 年度 私立幼稚園運営費補助金等に係る実地調査 (調査対象…私立幼稚園等特別支援教育研究推進事業費補助金) 鳥取第一幼稚園、鳥取第五幼稚園 令和 6 年 4 月 22 日 ・令和 5 年度 決算監査 令和 6 年 5 月 27 日（令和 5 年度決算に係る公認会計士と学 園監事との合同監査） ・令和 5 年度 決算に係る公認会計士期末監査 令和 6 年 4 月 28 日、5 月 1、2、10、15、17、21、22、23 日 ・令和 6 年度 鳥取県私立幼稚園運営状況調査 (対象 幼稚園型認定こども園) 実地調査 令和 6 年 10 月 24 日 鳥取第一幼稚園 令和 6 年 11 月 15 日 鳥取第五幼稚園 ・令和 6 年度 児童福祉施設指導監査 (対象 幼保連携型認定こども園) 実地監査 令和 6 年 9 月 30 日 鳥取第三幼稚園 令和 6 年 12 月 2 日 鳥取第二幼稚園 令和 7 年 1 月 28 日 鳥取第四幼稚園 ・令和 6 年度 公認会計士期中監査 令和 6 年 12 月 9、10、12 日 令和 7 年 2 月 18 日、3 月 3、7、10 日 令和 7 年 4 月 8 日 ・令和 6 年度「学校法人調査」（令和 5 年度事業対象） 令和 6 年 11 月 6 日 ・令和 5 年度「財政的援助団体等に係る事務監査」 令和 6 年 9 月 17、18 日

3 経営状況

(1) 鳥取学園経営理念

学校法人鳥取学園は、建学の精神に則り、教育を通じて社会に貢献することを経営の柱とする。園児・生徒・学生・保護者・卒業生及び教職員は一丸となり、将来にわたって地域社会とともに歩んでいくことを期し、次の点を重視し、強固な経営基盤の確立を図る。

- ・園児、生徒、学生を人として重んじ、それぞれの発達段階に応じた教育を通じて社会の負託に応える。
- ・経営における社会的責任を自覚し、透明性のある経営に努める。
- ・教職員間で将来ビジョン(中期計画等)を共有し、教職員の資質の向上と生活の安定に努める。

(2) 鳥取学園経営方針

- ・収支バランスに配慮しながら、持続可能な経営を行う。
- ・新規投資にあたっては費用対効果を十分に検証するとともに、確実な投資資金の返済計画を立てて実践する。
- ・特に、高校校舎改築及び幼稚園園舎改築借入金の計画的かつ円滑な返済と日本語学校の早期経営安定に留意する。また、中高一貫校の新設については、特に配慮が必要である。

(3) 経営状況の概要

次年度繰越支払資金は前年度29百万円の増から今年度68百万円の減へと転じた。

主な要因は、幼稚園の過年度分施設給付費返還金(R2～R4)▲34百万円、中高一貫校開校準備の設計委託料▲33百万円等である。

高校校舎改築資金は多額の借入金を返済しており、今後の長期間にわたる借入金の返済に備え、支払資金の確保は極めて重要な課題である。

また、今期より、第一幼稚園園舎改築事業が開始された。

今後少子化の加速が見込まれる中で、借入金の円滑な返済が可能になるよう、鳥取幼稚園の運営のあり方について更なる検討が必要である。

日本語学校においては、特定技能や介護分野の受け入れの継続など、昨年度に続き留学生の積極的募集活動により、学校の運営を早急に軌道に乗せ、学園経営に支障をきたすことのないよう努める必要がある。

さらに今期より、中高一貫校開校準備も始まっており、これらの各種課題に対応するために、引き続き経費の削減と学生、生徒、園児の確保による収入の増加を図り、経営の安定に努めなければならない。

(4) 資金収支の推移

※ 資金収支は当該会計年度の諸活動に対応する全ての収入と支出の内容（改築工事に係る収支を含む）と支払資金の収入と支出のてんまつを明らかにするもの

(単位:百万円)

年度	2	3	4	5	6
収入 (A)	5,946	4,742	3,909	3,755	3,783
城北高校	4,124	2,466	1,641	1,768	1,537
幼稚園・認定こども園	965	1,378	1,334	925	1,301
城北日本語学校	51	39	46	20	50
事務局(中高一貫校準備室含む)	0	7	1	3	108
前受金収入・その他の収入	1,070	1,059	1,126	1,173	1,146
資金収入調整勘定	▲ 264	▲ 208	▲ 240	▲ 134	▲ 359
支出 (B)	5,959	4,628	4,126	3,725	3,851
城北高校	3,991	2,401	1,472	1,713	1,555
幼稚園・認定こども園	978	1,395	1,445	1,008	1,232
城北日本語学校	69	60	61	56	68
事務局(中高一貫校準備室含む)	13	24	13	24	142
資産運用支出・その他の支出	1,001	905	1,221	1,049	1,071
資金支出調整勘定	▲ 93	▲ 157	▲ 86	▲ 126	▲ 217
収支差額 (A-B)	▲ 13	114	▲ 217	29	▲ 68
城北高校	133	65	169	54	▲ 18
幼稚園・認定こども園	▲ 13	▲ 17	▲ 111	▲ 83	70
城北日本語学校	▲ 18	▲ 21	▲ 15	▲ 36	▲ 18
事務局(中高一貫校準備室含む)	▲ 13	▲ 16	▲ 12	▲ 21	▲ 35
その他の収支差額	69	154	▲ 95	124	76
調整勘定収支差額	▲ 171	▲ 51	▲ 153	▲ 9	▲ 143
次年度繰越支払資金	737	851	634	663	596

(注) 百万円以下四捨五入で表示をしているため合計数値が合わないことがある。

令和6年度の収支差額(A-B)は68百万円と赤字に転じた。主な要因として、幼稚園の過年度分施設給付費返還金(R2～R4)▲34百万円、中高一貫校開校準備の設計委託料▲33百万円等である。

令和6年度から本格的に第一幼稚園園舎改築事業が開始されており、中高一貫校開校準備も進んでいる。将来に備えて、安定的な資金確保が急務である。

(5) 事業活動収支（消費収支）の推移

※ 事業活動収支（消費収支）では教育活動に必要な資産の取得に係るものを除き（ただし施設整備費補助金を含む）、経常的な収支バランスを明らかにするもの

ア 学園全体の科目別収入及び施設別収入の推移

(単位:百万円)

年度		2	3	4	5	6
学生生徒納付金		693	689	755	714	751
手数料		17	18	16	16	16
寄付金		14	4	7	6	4
補助金		1,231	1,403	1,364	1,345	1,486
運用収入		0	0	0	0	0
事業収入		156	171	165	164	191
雑収入		45	53	39	35	108
合計		2,156	2,338	2,346	2,279	2,557
施設別	城北高校	1,223	1,270	1,340	1,343	1,370
	幼稚園・認定こども園	880	1,030	958	913	1,128
	城北日本語学校	51	39	46	20	50
	事務局(中高一貫校準備室含む)	2	0	1	1	8

イ 学園全体の科目別支出及び施設別支出の推移

(単位:百万円)

年度		2	3	4	5	6
人件費		1,371	1,385	1,449	1,508	1,647
経費		761	893	873	910	923
借入金等利息		32	38	38	38	42
資産処分差額		2	59	50	1	3
徴収不能引当金		0	0	1	1	2
合計		2,166	2,375	2,410	2,458	2,617
施設別	城北高校	1,168	1,383	1,294	1,356	1,365
	幼稚園・認定こども園	913	918	1,039	1,024	1,074
	城北日本語学校	71	63	64	58	65
	事務局(中高一貫校準備室含む)	14	11	14	20	113

ウ 施設別の収支差額の推移

(単位:百万円)

収支差額(アイ)		▲ 10	▲ 37	▲ 65	▲ 179	▲ 60
施設別	城北高校	55	▲ 113	47	▲ 13	5
	幼稚園・認定こども園	▲ 33	111	▲ 81	▲ 110	54
	城北日本語学校	▲ 20	▲ 24	▲ 17	▲ 38	▲ 15
	事務局(中高一貫校準備室含む)	▲ 12	▲ 11	▲ 13	▲ 18	▲ 105

エ 令和6年度事業活動収支内訳

(単位:百万円)

内訳		城北高校	認定こども園	日本語学校	事務局	法人計
教育活動収支						
収入	R 5	1,320	908	20	1	2,250
	R 6	1,344	1,004	50	7	2,406
支出	R 5	1,323	1,019	58	19	2,420
	R 6	1,328	1,066	64	113	2,571
収支差額	R 5	▲ 3	▲ 111	▲ 38	▲ 18	▲ 170
	R 6	16	▲ 62	▲ 14	▲ 105	▲ 165
教育活動外収支						
収入	R 5	0	0	0	2	2
	R 6	0	0	0	0	0
支出	R 5	32	4	0	2	38
	R 6	37	5	0	0	42
収支差額	R 5	▲ 32	▲ 4	0	0	▲ 36
	R 6	▲ 37	▲ 5	0	0	▲ 41
特別収支						
収入	R 5	23	5	0	0	28
	R 6	26	124	0	0	150
支出	R 5	0	0	0	0	1
	R 6	0	3	0	1	3
収支差額	R 5	22	5	0	0	27
	R 6	26	121	0	▲ 1	147
基本金組入前		R 5	▲ 13	▲ 110	▲ 38	▲ 179
当年度収支差額		R 6	6	54	▲ 14	▲ 106
基本金組入額合計		R 5	▲ 138	▲ 54	▲ 2	▲ 195
		R 6	▲ 184	▲ 37	▲ 7	▲ 37
当年度収支差額		R 5	▲ 151	▲ 164	▲ 40	▲ 19
		R 6	▲ 179	17	▲ 21	▲ 143

(注)百万円以下四捨五入で表示をしているため合計数値が合わないことがある。

教育活動収支差額 城北高校+6百万円、幼稚園+54百万円、日本語学校▲14百万円である。

城北高校は教育振興費を7,000円から8,500円に値上げしたため、学生生徒納付金収入等が増加した。

幼稚園は、第一幼稚園の特別収入(大規模修繕補助金)120百万円の影響が大きい。

日本語学校は、生徒数は増加しているものの、人件費等の経費も増加している。

教育活動外収支は主に校舎建設等にかかる借入金利の支払である。

特別収支は、第一幼稚園園舎改築にかかる補助金収入120百万円、建物や構築物等の除去損▲2百万円が主である。

※ 基本金組入額

教育活動に必要な土地・建物、運転資金等を永続的な教育活動を担保するために計上するもので、観念的な簿記上の取引。

基本金を組み入れた上でこの収支がバランス(0以上)していれば、将来の固定資産取得時に取得資金が残っていることになる。

第1号基本金 「現有の固定資産の金額」の財源的裏付けとなるもの

第4号基本金 「運転資金の金額」の財源的裏付けとなるもの